

指定校番号	31036	学級活動	生徒会活動	○	学校行事	別紙様式2
-------	-------	------	-------	---	------	-------

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立栗原中学校	校長	井上 一男	生徒指導主事	坂本 篤宏
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『高め合う仲間』

取組における育てたい資質・能力					
人間関係形成		社会参画		自己実現	
人間関係形成能力	1	課題解決力	2	自信	3

取組のねらい

昨年度は、友達に対するからかいや暴言によるトラブルが多く、授業中の私語やエスケープがあるなど、全体的に落ち着かない状況だった。その結果、暴力行為が6件発生し、不登校生徒は11名いた。また、平成30年12月に実施した学校生活アンケートでは、「落ち着いた学校生活を送ることができています」という質問に対し、肯定的に回答した生徒が77.3%と他の質問に比べ低く、安心して学校生活を送れていない生徒がいる状況だった。

これらのことから、落ち着いて生活するためには、学校生活の基本となる「学級・学年集団」の絆を高めることが必要だと考えた。そのため、体育大会や文化祭などの学校行事を通して、リーダーの育成と生徒の主体的な活動を軸に、「学級集団づくり」の取組を行うことにした。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『学級集団づくり』
----------	----------------------

<p>【体育大会】 学級集団を活用し、体育大会リーダーを中心とした活動を行った。 ※競技、表現、応援合戦の練習では、①～⑤の流れを意識して、全学年で統一した指導を行った。</p> <p>○競技の部（学級対抗） 練習を重ねることで、上達を感じられる団体種目を多く取り入れた。（ムカデ競走・タイヤ奪い・大縄跳び・リレー）</p> <p>○表現種目（学年別） ・1年生⇒集団行動 ・2年生⇒ええじゃん ・3年生⇒ソーラン節 ・応援合戦（学年対抗） 体育の授業で学習した内容が表現できるように工夫した。</p> <p>【文化祭】 体育大会の練習と同じように、学級集団を活用し、合唱リーダーを中心とした活動を行った。 ※合唱練習では、体育大会の練習①～⑤の流れに加え、⑥の振り返りを意識し、友達の良さに気づかせる指導を行った。 ○合唱コンクール（学級対抗） ○全校合唱</p>	<p>【①目標設定】 【②練習計画の作成】 【③学級での練習】 【④リーダー会（課題発見）】 【⑤練習計画の見直し】</p>  <p>【⑥振り返り】</p> 
---	---

取組の成果と課題

【成果】
学校生活アンケートの集団にかかわる質問項目全てにおいて、昨年度と比較し、肯定的な回答が増えた。リーダーの育成と生徒主体の取組を通して、学校生活の基本となる学級集団づくりをすすめたことが、アンケートの結果にあらわれたと考えている。

生徒アンケート（12月実施）	平成30年度	令和元年度	前年比
落ち着いた学校生活を送ることができています。	77.3%	83.4%	6.1%↑
栗原中学校には生徒が自主的・主体的に活躍する場があります。	78.3%	82.7%	4.4%↑
自分のクラスは楽しいです。	86.2%	88.1%	1.9%↑
日頃の活動や行事で主体的・協力的に行動ができています。	85.6%	87.4%	1.8%↑

学校の状況として、暴力行為と不登校生徒数は昨年度と比較し減少している。学級集団づくりを大切にすることで、生徒が安心して過ごせる学級になり、良好な人間関係が築けたことが理由として考えられる。

	平成30年度	令和元年度	前年比
暴力行為発生件数（件）	6	3	-3
いじめ認知件数（件）	1	2	+1
不登校生徒数（人）	11	6	-5

【課題】
令和2年1月末現在で、暴力行為は3件、不登校生徒数は6名となっている。全ての生徒が安心して過ごせる学校になるために、生徒が相談しやすい体制を整え、いじめなどの問題行動の未然防止に努めることが必要だと考えている。また、保護者アンケートでは「栗原中学校は信頼できる」という質問に対し、肯定的に回答した保護者は74.3%と他の質問に比べ低かった。今後は、保護者との信頼関係を構築し、生徒と保護者から信頼される学校にしていきたいと考えている。